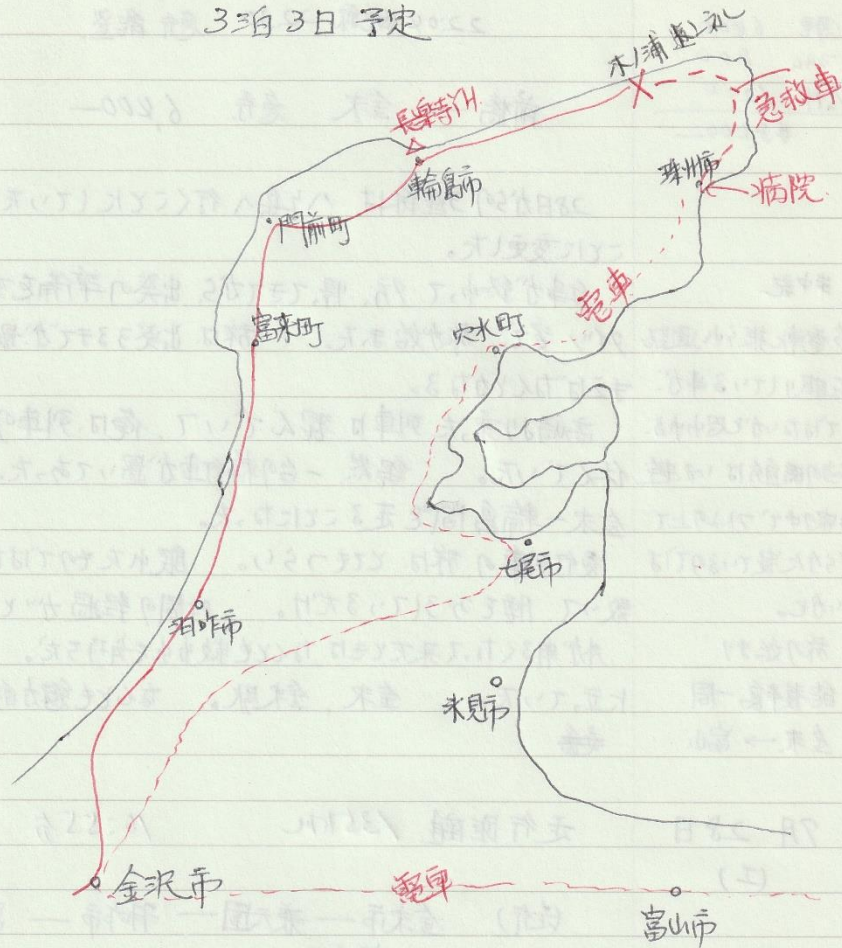


能登半島

1984年 7月27.28.29.30日

3泊3日予定



予定

7月27日夜

夜行金沢行き

7月28日

金沢 — 輪島 (長島子行)

7月29日

輪島 — 氷見

7月30日

氷見 — 富山 — 帰郷

** チャリンコ旅日記 No.6 **
** Resistance Of My Mind 19910515 **

【 1984年 7/27日から 29日 金沢市 から 能登半島 180km 】

【 7月27日 (金) 】 走行距離 0 Km
(電車) 前橋駅 → 直江津 → 金沢駅 走行時間 0分

22:04 前橋駅 出る
22:30 高崎駅 出る 急行能登 ¥6400-
5:50 金沢駅 着

7月28日からの3連休は独りで八ヶ岳へ行く予定だったが、前日に能登半島へ行く事に変更した。そのため、27日の夕方仕事から帰ってから旅の準備を始めた。

高崎駅を22時30分に出る急行能登に乗るために、21時過ぎに家を出る。この電車は2両だけ自由席があり、後は全て寝台車。上野駅始発のこの電車に高崎から乗るのは、ちょっと無理があった。自転車をとにかく入口の隅に縛り付け、私は連結機のそばに立っている。通路にはすでに新聞を敷いて腰を下ろしている人が沢山いる。

夜行列車の旅はとても辛く、眠りたいのだけど眠ることができない。時間の経過と共に意識が朦朧としてきて、気が狂いそうだ。壁に寄り掛かって居眠りをしている。時折、暗い深淵に足を踏み外した瞬間、倒れそうになった自分に気がつき、時計を見るとたいして時間は経過していない。今電車に揺られ通路で壁にもたれて居眠りしている事が、夢ではないかと思われる。本当の自分は今、安全な家の中で温かい布団にくるまれて寝ているのではないかと。長野、直江津、糸魚川と過ぎて、黒部市辺りで長い夜が終わり外が明るくなってきたときは、なんとも救われた気持ちだ。

5時50分、金沢駅に到着。

【7月28日(土)】 快晴

金沢市 → 富来町 → 輪島市

走行距離 135Km

走行時間 10字55分

6:51	金沢駅 出る	12:43	高浜
	兼六園散歩 ¥150-	13:13	赤住 シュース、7ｲｽ ¥150-
8:05	出る 食事 ¥500-	22	出る
9:03	内瀬町 休み シュース ¥200-	46	能登金剛 シュース ¥200-
10	出る	14:00	出る
35	七塚町	55	休み
37	出る	15:02	出る
10:02	休み シュース ¥200-	15	深谷 休み
20	出る	23	出る
55	休み ヨーグルト、レモン、パン	16:07	門前町 シュース ¥200-
11:10	出る ¥330-	11	出る
45	塩垣 昼食 ¥700-	17:46	YH着
12:20	出る		

駅のトイレで着替えをしてから交番の横で自転車の組立をする。早朝の為かまだ人通りが少ない。ちょっと寄り道して兼六園を散歩してから輪島へ向かう。

海岸沿いに走る道を北上する。天気が良くて暑い為か寝不足の為か、今日はやけに疲れる。海水浴場を通るたびに泳ぎたくなってしまふ。でも泳いだらもっとだるくなってしまふ。11時頃、スーパーで休んでレモン、ヨーグルト、パンを買って食べる。レモンをふたつに切ってかじっていたら、また力が湧いてきた。

高浜から能登金剛へ向かう。赤住付近の松林はみな内陸側に傾いていて、日本海を吹き渡る風の強さを物語っている。能登金剛を過ぎて門前町に着いたときには、すでにお尻が痛くなってきていた。あと一つ峠を越えなくてはならない。輪島への峠は次第に細くなり道を間違えたのではないかと思ってしまう。そのまま走って峠にたどり着く。ここを下ればたぶん輪島へ出る。不安な気持ちで軽快に坂を下りて行く。17時過ぎ、なんとか輪島市に到着。

宿泊するYHは長楽寺YH。すでに数台の自転車が止めてある。何となく暗いイメージのYHであまり人とのふれあいがなかった。風呂に入って食事をした後、近くの観光センターで「ごじんじょう太鼓」の演技があるというので見に行った。今日は不思議と酒が呑みたい気持ちで、太鼓の演技を聞きながら缶チューハイを飲んでみた。どうせYHへ戻ってもすぐに寝てしまふつもりなので気楽にお酒を飲んでいる。能登の夏、鬼が髪を振り乱して太鼓を叩く、その響きが心の中まで響いて心地いい。

いくら酔ったのかYHに戻ったら、太鼓の響きの余韻が消えないうちに眠りについてた。

【7月29日(日)】 快晴

走行距離 45 Km

(自転車) 輪島市 → 木の浦

走行時間 1時間50分

(救急車) 木の浦 → 珠洲市

(電車) 珠洲市 → 金沢市 → 直江津 → 前橋市

5:30 輪島長楽寺YH 出る

6:12 曾々木 ジュース ¥200-

20 出る

45 大谷(赤神)

50 大崎島 休み

55 出る ジュース ¥100-

7:20 木ノ浦トンネル 事故
民宿シャカゲ 荘より救急車
治療費 ¥1090-
マスク ¥200-

9:35 珠洲市警察署 出る

11:07 能登うかい駅 着

金沢急行 ¥3200-

ジュース7杯 ¥490-

14:50 金沢駅 着 みやげ ¥6700-

15:30 金沢 出る 特急白山6号
¥7400-

ジュース、プリン 700-

21:50 前橋駅 着 タン 1300-

朝5時目が覚める。今日の目的地は氷見市まで。200 Km以上ある。時速20 Km平均で走っても10時間以上かかる。カロリーメイトで食事を済ませ5時30分長楽寺YHに一礼していざ出発。早朝、静まり返った輪島市内を走り抜けて、海岸沿いに狼煙へ向かう。左は日本海、右は山。三陸のミニチュア版の様だ。海へ落ちる崖の僅かな平地を使って稲を作っている。この辺りは千枚田として有名な所。曾々木の交差点の角の店で休憩する。朝から海水浴客が多く民宿も多い。カロリーメイトの残りとジュースを補給して出発。ギヤを適時切り替えながらスピードを落とさない様に走る。赤神の珠洲市へ抜ける道を別れると、狼煙への道はさらに狭まりアップダウンがきつくなる。最低のギアで峠に登り最高のギアで下る。そして集落を通り過ぎてまた峠へ登る。朝なのにもう暑くて暑くて、Tシャツをまくってお腹を出して走っている。峠に登り始めてカーブを曲がるたびに高さを増して行く。そしてやっと登り終わった先にトンネルがあった。やっと下りになることが、疲れた体には嬉しかった。こんな所にトンネルを作ってくれた人に感謝したいほどだ。トンネルに入って半分程の所で何かしら霊的なものを感じて「トンネル工事で誰か死んだ人がいるのかな。」と思いながら走っていた。

トンネルを出たところは右カーブになっていて、このままのスピードで曲がれると思ってカーブに入った。そしてすぐに、後輪がスリップ。同時に車体を立て直しながらブレーキを掛けてしまった。そのとたん、上から大きな物で押しつぶされる様な感じで自転車の左側に落ちてしまった。左手を突いたが、顎と口がアスファルトの路面におつかた。その瞬間、グシャという感じがして「ああ、歯がボロボロになってしまった。どうしよう。」と諦めていた。

すぐに立ち上がると、顎から血がすーっと流れ落ちていた。あわてて左手で傷口を抑え自転車を

道端に片付けてバックからタオルを出して傷口を抑える。痛みはあるが激痛はない。

眼下に集落が見える。自転車が壊れていないことを確認して、口をタオルで縛って自転車の跨って下って行く。ちょうど玄関の開いていた民宿（しゃくなげ荘）に入って、中にいたおばあさんに救急車を呼んでもらう。おばあさんも慌てて、私に「救急車は何番だっけ」と聞き返していた。

救急車が来るまでの間、ジュース一本を買って不自由な口でジュースをちびちびと飲んでいた。口を怪我してしまったので、ジュースを飲むことさえ儘ならない。しばらくして救急車がやってきたのでジュースを持った右手を振って合図する。車が止まり「けが人はどこですか」と聞くから、「私です。」と元気に答える。すかさず、「自転車も運んで貰えないでしょうか。」とお願いする。しかし、私だけ救急車に乗って珠洲市の病院へ向かう。救急車のベッドに横たわり、左手でタオルを持って傷を抑え右手はジュースの瓶を放さずに持っている。サイレンの音。車窓から見える木々の緑。心が落ちついて安心する。これで助かる。

珠洲市の病院に到着して、病院の入り口の台の上に寝かされる。そして救急車の人に「おいくらですか。」と聞いたら、「無料です」という。内心「ただか！良かった。」と思った。

台の上に寝かされて、なすが儘になっている。唇と顎の傷を麻酔を打って縫っている。痛みはあまり無いが感触が伝わってきて恐怖心に襲われる。窓から吹き込むそよ風で傷口に当たったガーゼがそよいで、手当がやり辛そうだ。それでも唇7針、顎9針の計16針も縫われた。手当が終わって保険証で治療費を払い、ジュースの瓶をぶら下げて病院を出る。

病院で指示された警察署へジュースをちびちび飲みながら歩いて行く。途中、マスクを買って傷口を隠す。ジュースもやっと飲み終わり長い間俺の心を慰めてくれたジュース瓶を自動販売機の脇に置いて行く。

警察署へは20分程で着き、中で事故証明書を書く。その間に、警察の人が私の自転車を取りに行ってくれた。

9時半頃、自転車を受け取って警察署を出る。もう今回は怪我が気になって走る気力は無い。線路に沿った道を当てもなくただ走る。やっと探し当てた鵜飼駅。列車の時刻を確認して自転車を分解する。朝からほとんど何も食べていないのでお腹がすいている。でも口を怪我しているのも食べられない。

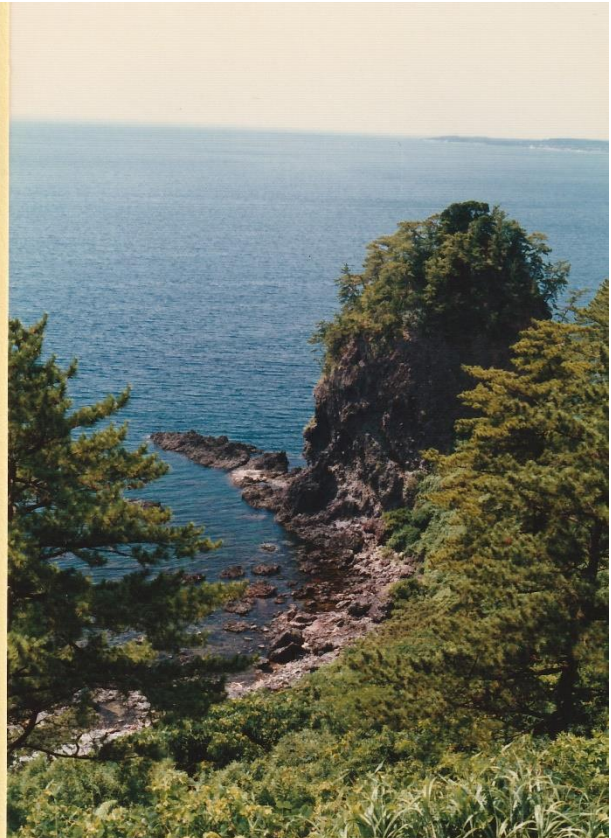
11時鵜飼駅から電車に乗る。金沢駅へ出てから前橋へ帰郷する。夜10時には自宅までたどり着くだろう。電車に乗ってから幾らか熱が出始めて顎から頬が腫れてきた。お腹もすいていて座席に座ってぐったりしている。今回走るはずだった道や景色がうつろに流れて行く。

14時50分、金沢駅到着。15時30分、白山6号で高崎へ向かう。この電車に乗っていれば家に帰れる。22時15分、自宅到着。すぐに近くのセブンイレブンへ行って、カロリーメイトの流動食を買ってきて飲む。朝、能登半島の先端で怪我をして、夜には前橋の自宅にいる。帰る家があることが嬉しかった。

翌日、病院へ行ったらレントゲンを撮って、顎の骨に3箇所ひびが入っていることがわかった。そのため8月3日より1カ月半の入院生活が始まった。



0728
金沢兼六園



0728 能登金剛 巖門 鷹の巣岩

